

**第3回胎内市立中学校  
再編検討委員会  
～グループ協議について～**

**胎内市教育委員会 学校教育課**

# 「どういふ子どもたちが胎内市から育って世界に羽ばたいていくのか」

【胎内市教育の基本理念】教育は人をつくり、地域をつくる崇高な営み

【胎内市学校教育の重点】地域とともに歩む学校づくり

【「胎内市立小中学校の適正規模等に関することについて（答申）」より】

胎内市において、子どもたちが、ふるさとを誇りに思い、これからの社会を切り拓いていく生きる力を身に付けられるような望ましい学校教育環境の整備に取り組むことが大切である。

学校名	学校運営協議会が設定した「目指す子どもの姿」
中条中	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域と積極的に関わる生徒</li><li>・自分や学校、地域の良さが分かり発信できる生徒</li><li>・明るく元気で、自分も他人も大切にする生徒</li></ul>
乙中	地域のよさに触れながら、広い視野をもち、自ら将来を切り拓ける生徒
黒川中	ふるさとを愛し、正しい心をもち、主体的に行動する生徒
築地小・中	ふるさとを愛し、仲間と協力して、たくましく自分の道を切り拓いていく子ども

# 胎内市の子どもたち（現在行われている教育活動）

## 中条中学校2年生の地域学習（総合的な学習の時間）

### ○内容

学年を6コースに分け、市内6ヶ所を訪問し、さまざまな角度から地域の魅力にせまった。

### ○地域との連携

地域おこし協力隊や市の職員の方、地域観光ボランティアの方に協力を仰ぎ、一緒に各地域の特色に即した活動を行った。事後学習では、学んだことや、地域の課題に対する解決策をまとめ、お世話になった地域の方を招いて、発表会を行った。

2023 中条中学校 2学年 総合的な学習 地域学習 「私たちの住む胎内市の再発見～地元胎内の魅力やよさについて考える」						
活動日 R5. 5. 19(金) 雨天決行 9:30出発～10:00午前プログラム～12:00昼食～12:40午後プログラム～14:00現地出発～14:30学校着						
	A	B	C	D	F	G
	鼓岡コース	大長谷コース	乙コース	中条コース	胎内平コース	築地コース
活動内容	マコモダケ体験	ヨモギ体験	歴史ある乙宝寺 散策・講話・体験	宿場町中条町歩き	森林自然散策	松原ステーブルス 牧場見学・体験
参加人数	18	20	20	16	19	24
担当ガイド	神田圭奈さん(前協力隊)	森麻衣子さん(19日)、 永野久美子さん(26日)	久世俊介さん	布川拓男さん	廣井聡さん 黒川公民館	松原正文さん(オーナー)
	市役所職員の方	市役所職員の方		武田玲子さん (昼食場所予定の家主)		
午前プログラム	マコモダケ植え付け体験	ヨモギ収穫	乙宝寺散策・講話	宿場町の歴史ある建造物や商店、 水路・路地、會津八一などを巡る	胎内平自然散策	馬のお世話(エサ・おやつあげ)
午後プログラム	地域の素材を使ったワークショップ	ヨモギを使ったワークショップ(お菓子づくり)	乙山桜復活の会 1000本桜整備活動	宿場町の歴史ある建造物や商店、 水路・路地、會津八一などを巡る	あま池 水アミすくい ※各班1種類、4種類のあみで生き物捕獲	エサやり後の清掃 時間があれば乗馬体験

# 胎内市の子どもたち（現在行われている教育活動）

築地地区（松原ステーブルス）



乙地区（乙宝寺）



中条中



中条地区（本町商店街）



黒川地区（鼓岡マコモダケ）



# 胎内市の子どもたち（令和5年度全国学力学習状況調査生徒質問紙より）

今住んでいる地域の行事に参加していますか。

	小学6年生	中学3年生
胎内市	78.9%(全国比+21.1)	51.7%(全国比+13.7)
全国	57.8%	38.0%

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

	小学6年生	中学3年生
胎内市	85.5%(全国比+8.7)	77.8%(全国比+13.9)
全国	76.8%	63.9%

**☆地域を愛し、行事等に積極的に参加し、自分事として地域のことを考える子どもが育っている**

# 望ましい学校教育環境に関する協議（再編検討委員会）

すべての子どもが、ふるさとを誇りに思い、これからの社会を切り拓いていく生きる力をしっかりと身に付けるために

再編の形態

立地

通学

地域とのつながり

きめ細かな指導

【答申書より】

胎内市の子どもたちは、学校を愛し、地域を大切に思う気持ちが強く、学校は、このような地域を大切に思う気持ちの育成と地域活性化に大きな役割を果たしてきたが、統合後、地域と学校のつながりが希薄になることで、この地域を大切に思う気持ちが薄れる心配もある。統合後も地域と学校のつながりを保つためには、PTA役員やコミュニティ・スクール学校運営協議会委員の選出方法の工夫を行うことが考えられる。また、胎内市学校支援人材バンクを活用し、地域の力を学校に取り入れることを促進することも、地域と学校のつながりを保つ有効な手段になると思われる。

地域からは、地域行事等の担い手不足といった状況を解消するため、中学校の力を借りたい、という声もあがっている。現状は、中学校区内の生徒の力を借りることがほとんどだが、統合することにより、市内全域の生徒の力を借りることができる。これらの取組により、地域と学校のつながりを保ち、生徒の地域を大切に思う気持ちの育成と地域活性化の役割を果たすことが、これまで以上に可能になると考える。

# 望ましい学校教育環境に関する協議（再編検討委員会）

すべての子どもが、ふるさとを誇りに思い、これからの社会を切り拓いていく生きる力をしっかりと身に付けるために

再編の形態

立地

通学

地域とのつながり

きめ細かな指導

【答申書より】

教職員の減少、特に教頭、養護教諭、生徒指導主事等、生徒指導上の問題に中心となって対応する教職員の数が、市全体として見た場合に減少することで、いじめ、不登校等の問題が増加し、それに伴って学力低下等につながるものが懸念される。そのため、スクールカウンセラーの学校訪問回数を増やしたり、関係機関との連携を深めたりするなどの工夫が必要となる。また、小学校との連携や地域との連携を強くし、生徒の自己有用感、自己肯定感を高める教育活動を充実させることが求められる。さらに、統合前から中学校間での交流を推進し、多様性を認め合うなど、同じ胎内市の中学生という意識の醸成を、時間をかけて進めていくことも大切である。

現在、学校職員の多忙化解消を図り、児童生徒と向き合う時間を確保する取組が行われているが、統合直後は、先に述べたような生徒への様々な対応に加えて、新たな業務が多くなり、教職員は、さらに多忙になることが考えられる。統合前に、これまで以上に、教職員の多忙化解消の取組を工夫し、生徒と向き合う時間を確保するための綿密な計画を立てて準備することが必要不可欠となる。

今回は、仮に4中学校を1つに統合したとして、

## ① 中学校と地域とのつながりを保つには

- ・地域を大切に思う気持ちの育成 ・地域活性化
- ・PTA ・コミュニティ・スクール学校運営協議会 ・胎内市学校支援人材バンク
- ・地域行事等の担い手不足 ・市内全域の生徒の力を借りる

## ② きめ細かな指導体制を継続するには

- ・教職員数 ・いじめ、不登校等の問題 ・学力 ・スクールカウンセラー ・関係機関との連携
- ・小学校との連携 ・地域との連携 ・生徒の自己有用感、自己肯定感を高める教育活動
- ・統合前から中学校間の交流を推進
- ・学校職員の多忙化解消 ・児童生徒と向き合う時間を確保する取組